

平成 27 年度 第 1 回 第五期西東京市地域自立支援協議会会議要旨

開催日時	平成 27 年 11 月 9 日（火）午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分
開催場所	田無庁舎 3 階 庁議室
出席者	（委員）青木委員、植村委員、海老澤委員、小川委員、鈴木委員、平委員、高田委員、根本委員、日高委員、丸木委員、宮田委員、山田委員、渡部委員、渡辺委員、綿委員（五十音順） （事務局）丸山市長、成田部長、萩原部長、青柳課長、小林係長、林係長、広渡係長、吉賀主査、菅主任、御園主任、荒川施設長（相談支援センターえぼっく）
議題等	① 依頼状伝達式 ② 市長挨拶 ③ 協議会委員自己紹介 ④ 会長・副会長互選 ⑤ 協議会の運営及び協議事項等について ⑥ 情報交換 ⑦ その他
会議資料	<配布資料> 資料 1 第五期西東京市地域自立支援協議会委員名簿 資料 2 自立支援協議会の機能 資料 3 第四期 西東京市地域自立支援協議会 協議事項 資料 4 東京都内における地域自立支援協議会の活動状況 資料 5 第五期地域自立支援協議会における専門部会について 資料 6 平成 27 年 6 月までの計画相談実績 資料 7 西東京市内障害福祉サービス事業所の状況
協議結果	① 会長を山田委員に、副会長を綿委員に選任。 ② 第五期では、様々な配慮を行なった上で原則公開とする。 ③ 部会を順次立ち上げ、協議会との連携を図っていく。
協議内容	現状・課題・問題点・意見・提案・報告等
協議の概要	1、依頼状伝達式 2、市長挨拶 ○相談事業において、10 月から市と相談支援センターえぼっくの新体系で進められることを期待している。 ○今年 5 月に西東京市の組織改正を行い、子ども時代からのシームレスな支援体制の構築を目指していく。 ○全ての市民へ、それぞれの立場に合うサポートができるような街づくりをしていくというビジョンを掲げ、昨年 7 月に WHO 健康都市に加盟した。 ○決して十分な進み方では無いと感じるところもあるが、一步一步進んでいる状態である。第五期に向け、各委員の専門的な立場でのご意見を賜りたい。 3、協議会委員自己紹介（…名簿順に自己紹介） 4、会長・副会長互選 *会長：山田委員（…会長挨拶） *副会長：綿委員（…副会長挨拶）

5、協議会の運営及び協議事項について（事務局）

（事務局職員紹介）

○第五期では、幼少期から切れ目のない支援を行うため、顔の見える関係を作り、西東京市の障害福祉を推進していくための人選を行なった。

○第四期では部会を作り、障害者基本計画及び障害福祉計画の策定をお願いした。また、フレンドリーの指定管理者導入についてもご議論を頂いている。今までも自立支援協議会の方から様々な施策に関するご提言を市に頂いており、今期はこちらの機能をさらに充実させ、協議会の目的に沿ってネットワークを組み、障害者の支援を進めていきたいと考える。

○また、知的障害者の地域活動支援センターがないという指摘を度々頂いていたが、これについては今年度中に何とか場所の目処だけでも立てたいと考えているところである。

○第五期の開催にあたり、協議会自体の公開・非公開についてご議論頂きたい。前期までは、会議については非公開とし、計画策定部会では個々の実情はないということで、傍聴をお認め頂いた。

（結論）⇒・基本的には公開とするが、個人情報等には十分配慮する。

・情報の保障について、合理的な配慮を行う。

・次回までに事務局にて傍聴に関する規定、会議中の個人情報に関する規定等整理する。

○今期の自立支援協議会では、テーマに合わせた専門部会を作り、実務者レベルでの協議や活動を広げることを考えている。自立支援協議会全体会との関係では、各専門部会から活動報告を受けて協議や意見交換等を行い、困難事例等の相談支援の内容であればそれぞれの専門的立場からスーパーバイズを行う等し、課題の検討をしていきたい。

○かつて西東京市の自立支援協議会でも専門部会を多く持っていた時期があったが、立ち消えになった経過がある。今回は専門部会設置の優先順位を考え、一番初めに相談支援部会、次に権利擁護部会の順番で取り組んでいきたいと考えている。部会の委員は本日の協議後、実務者を中心に考えていく。

⇒○部会を立てることに異論は無い。しかし、目的を明確にするのは当然だが、具体的なアウトプットのイメージを示し、いつまでに、どうするのかということも明確にする必要がある。（委員）

○より多くの地域の現場の方々が参画できるよう敷居を低くし、色々な議論をしてオール西東京という形で解決していくのが理想的な形である。また、親委員会の全体会と連絡を取りながら、繋がりをもてるような部会があると良い。（委員）

○協議会では全体を見て、部会では現場の声を反映させるような会にしていきたい。部会の案や委員の選出は、事務局に一任して進めていく。（委員）

6、情報交換

○議事録は作成するのか。（委員）

○一旦発言者の名前入りで作成し、各委員確認後は「委員」と表記してから情報公開に付す。（事務局）

○次回より、自分の名前を言ってから発言して頂けると良い。（委員）

7、その他（事務局）

○次回開催は2月を予定している。日程は改めてメールで調整を行う。

